

雪中稲刈り・作占い



今年には自然災害に注意
暖冬で稲倒れる

雪で作った雪田の中に植えられた稲わらを刈り取り、鎌や耒の入り方などからその年の米の作柄を占う「雪中稲刈り」が、北秋田市獅子田の取たかのす太太鼓の船頭で行われました。今年、暖冬の影響で気温が高く雪解けが進み、ほとんどの稲が倒れていたため「不作」との見立てが告げられました。

JA秋田たかのす青年部(館谷政崇部長)は、1月15日に同会場で行われた小正自行事(「雪田稲刈り」)の際に、2台トラック5台分の雪を市内各所から集め、何とか1・8畝四方の雪田を作り上げました。この日は、連日続いた暖冬の影響で1畝ほどあった雪田の高さも50センチほどまで下がり、雪の中にしっかりと植えられていた16束の稲も自身を支えることが出来ず全て倒れていました。例年であれば刈取り役が1束ずつ丁寧に刈り取っていくのですが、今年は刈取り役の小取宗太青年部員(栄地区)が雪田に残った稲を優しく雪田から下ろしていききました。

稲は傾き方や耒の入り方などで作柄を占い、たわに受る稲穂の様子に頭(こづ)を垂れた状態であれば豊作、直立していれば実が入らない不稔、倒れていれば風水害の被害を意味し、凶作とされています。今

雪で作った雪田の中に植えられた稲わらを刈り取り、鎌や耒の入り方などからその年の米の作柄を占う「雪中稲刈り」が、北秋田市獅子田の取たかのす太太鼓の船頭で行われました。今年、暖冬の影響で気温が高く雪解けが進み、ほとんどの稲が倒れていたため「不作」との見立てが告げられました。

JA秋田たかのす青年部(館谷政崇部長)は、1月15日に同会場で行われた小正自行事(「雪田稲刈り」)の際に、2台トラック5台分の雪を市内各所から集め、何とか1・8畝四方の雪田を作り上げました。この日は、連日続いた暖冬の影響で1畝ほどあった雪田の高さも50センチほどまで下がり、雪の中にしっかりと植えられていた16束の稲も自身を支えることが出来ず全て倒れていました。例年であれば刈取り役が1束ずつ丁寧に刈り取っていくのですが、今年は刈取り役の小取宗太青年部員(栄地区)が雪田に残った稲を優しく雪田から下ろしていききました。

稲は傾き方や耒の入り方などで作柄を占い、たわに受る稲穂の様子に頭(こづ)を垂れた状態であれば豊作、直立していれば実が入らない不稔、倒れていれば風水害の被害を意味し、凶作とされています。今



豪風引退 押尾川襲名披露大相撲



元関脇豪風(押尾川親方)にあきたこまち100キロ贈呈



2月1日、秋田県北秋田市(旧森吉町)出身の大相撲元関脇の豪風(押尾川親方)の「豪風引退押尾川襲名披露大相撲」が東京・両国国技館で行われました。断髪式前には、津谷永光・北秋田市長から市民栄誉賞が授与され、副賞として当JAの高橋組合長からあきたこまち100kgが贈られました。

断髪式では、およそ9000人のファンが見守る中、秋田にゆかりがある方々や横綱白鵬など300人が大銀杏(たいいちょう)にはさみを入れました。